



BNI 三重リージョン ニュースレター

【2017年12月号】

【BNI 公式ポッドキャストより】

アイヴァンに訊くビジネスの秘訣

By Dr.Ivan Misner

こんにちは。今日のポッドキャストは新しい企画です。このコーナーを「アイヴァンに訊くビジネスの秘訣」と呼ぶつもりです。このポッドキャストを聴いている BNI メンバーの皆さん—私に尋ねたい真剣な質問があったら、喜んで引き受けます。頂いた質問には全て目を通し、その中から世界中のメンバーと大きな関わりがあるものをいくつか選んで、このコーナーで回答しようと思います。BNI に関連する質問でもかまいませんし、ビジネス全般の質問でもかまいません。30 年以上グローバルビジネスを展開してきて、少し経験も蓄積されてきたので、皆さんとそれを共有できたら嬉しいです。教育的な内容の質問を待っています。チャプターに関連する特定の問題はその地域のディレクターに任せるとして、ビジネスや BNI でどう成功するか、といった真剣な質問があったら、ぜひ答えたいと思います。

メンバーと繋がり、メンバーが直面している問題の解決に力を貸すことができたらと思っています。そんなわけで、「アイヴァンに訊くビジネスの秘訣」です。既に何人かのメンバーが質問をくれましたので、そこから始めましょう。

最初の質問はタミーからです。「地方をベースとした小規模ビジネスの場合、会社の成長に貢献してくれるような影響力のある人たちと出会うにはどうしたら良いのでしょうか？」これは素晴らしい質問ですね。この問題に関連する経験が少しあります。結論を言うと、こうなります。一般的に、地方のビジネスでも、都市部のビジネスでも、戦略は大きく変わりません。こういうことを言うと、「頭がおかしいんじゃないの？」と思う人がいるのも承知しています。同じ国の中でも、場所も全く違うし、慣習だって違うと。

でも、もしそれが本当なら、BNI が世界 70 ヶ国以上に展開することもできなかったでしょう。文化的な視点では、そういった国々は全て異なるわけですから。もしそれでも疑問

があるのなら、こんな話を紹介したいと思います。確か、23年くらい前だったと思うのですが、ずっと昔の話ですが、BNIのカンファレンスを行いました。当時のカンファレンスの規模は今よりずっと小さく、参加者は40~50人だったと思います。今では1,000人規模ですね。メンバーから出された意見の一つが、こんなものでした。「アイヴァン、ここでは話が違うのです。私は地方のコミュニティーにいます。地方は、都市部とは違うのです。ニューヨークではないのです。」

他に、こんな意見もありました。「都市近郊にいます。ここも違います。都市や地方とは違った問題があるのです。」さらに、都市部の人たちは、「自分たちも他の地域とは違う。」と言いました。皆が皆、違うと言うわけです。メンバーに言いました。「分かった。賛成できないけど、その話に乗ろう。」と。ちょっとエクササイズをしよう、と言いました。そして、メンバーを3つのグループに分けました。総勢60人程度です。カンファレンスの規模はずっと小さかったのです。3つのグループに分けると、各グループだいたい20人くらいでバランスが取れました。「BNIチャプターを運営する上で直面する問題を全部フリップチャートに書き出してください。そして、その問題を私に教えてください。地方のリージョン、都市近郊のリージョン、都市部のリージョンで、それがどの程度違うか見てみましょう。」

メンバーは、「ついにこの問題に取り組んでもらえますね！」という面持ちでした。それぞれのグループでリストをつくり、私がそれをまとめました。グループ間での違いはどんなものだったと思いますか？ そう、全く同じだったのです。事実上、地方、都市近郊、都市部で出てくる問題に違いはありませんでした。どれも同じです。違っていたのは、ミーティングを開く場所くらいのものでした。都市部のリージョンでは、それが少し違っていた。でも、それだけです。どこのリージョンでも、事実上、出てくる問題は一致していたのです。

ポイントは、『基本が全てだ』ということです。タミー、自分が地方にいるかどうかは問題ではありません。もしあなたが都市部にいて、私に同じ質問をしたとしても、答えは変わらないでしょう。基本は基本です。アメリカで問題が発生したという話でも、イギリスだという話でも、インドでも、関係ないわけです。もちろん、文化の違いがあります。ただ、地方にいる、という事実は、国によって文化が違う、というのと同様、二次的な問題にすぎません。一緒にビジネスをしているのはその文化の中で生活している人々であって、文化の外ではないからです。言っていることが分かりますでしょうか。

それでは次の質問に行ってみましょうか。ルイーズの質問です。「仕事を任せられるスタッフをたくさん雇う前は、どのように時間をやりくりしていましたか？アシスタントを雇うほどのお金がない起業当時、どうやって仕事を全部こなし、睡眠も確保していたのでし

ようか？」という質問です。

まず、睡眠時間を期待しすぎです。私は実際、睡眠を多く取れない時期が長くありました。時として、やりたいことを成し遂げるためには、やるべきことやらねばなりません。以前、ポッドキャストで話しましたが、妻を寝かせて、子供を寝かせて、それから仕事に戻ったことが何度もありました。最初の何冊かの本は、出版にこぎつけるのに、週に1回、夜の11時や12時から翌日未明まで机に向かって書き上げました。

時として、歯を食いしばって仕事をしなければならないわけですが、加えて、時間管理スキルを身につける必要があると思います。時間管理の方法は人によって様々です。まったく異なるものです。私に合ったものがあなたに合うかは分かりませんが、以下が私のやっていることです。私のビジネスライフはカレンダーが全て管理しています。必要なことは全てカレンダーに書き込み、軍隊式に時間を確保しています。朝の8時か9時、あるいは早朝のミーティングがある場合は7時に始まり、30分刻み、もしくは1時間刻み、あるいはミーティングの長さに合わせて予定を確保しています。軍隊式に、正確に予定確保をしています。これが私のスケジュールの管理方法です。

それに、私がしているのは—この話を前にポッドキャストでしましたね。カレンダーに色をつけて管理しています。カレンダーには常に色がついていて、ビジネスにおいて、関与している仕事と、関連する仕事とを振り分けています。関与している仕事は、毎日のマネジメントです。関連する仕事は、もっと戦略的なものです。例えば今日の仕事ですが、戦略的な仕事、ビジネスに関連した仕事です。こういった仕事は何十年も働いていると手に入るようになります。現時点で、ビジネスに関連した仕事に割く時間が少なくても、悪く思わないで下さい。そうなるまでには時間がかかります。こういった事柄を、色で分けています。ビジネスに関連する仕事で、もともとするはずだったことをしている時には、緑色です。他のことをしている時には他の色です。

そして、できるだけ早く誰かを雇ってください。アルバイトを雇うのは、サポートスタッフを身近に置き、徐々にビジネスに慣れてもらうことのできる、素晴らしい方法だと思います。フルタイムの人を雇う予算も必要ありません。アルバイトを雇って、仕事をしていくと良いでしょう。

ミーティングの間の移動は、スケジュールに入れていますか？あるいはミーティングが終わったら次のミーティング、それが終わったら次、というようにしています。出張に出ている時は、そのようにしています。移動もスケジュールに入れます。実は移動のための色も用意していて、どこかに運転して向かわなければならないときは、その時間を確保し

ます。そうする理由は、スケジュールリングに問題がないか確認する意味もありますが、その時点で自分がいる場所を示す意味もあります。私の補佐をしてくれるアシスタントはカレンダーにアクセスできるようになっています。移動時間にミーティングを設定して欲しくないですし、電話もできればしたくありません。移動中の電話はあまり好きではありません。特に、良好な関係がしっかりできていない相手との電話は、集中できないので車の中ではしたくないのです。ただしスタッフは知っているのですが、私が良く知っている人であれば、電話をかけます。こんなふうに、ミーティングの間でも、移動に時間を確保していることがあります。

今日はこれでタイムリミットだと思います。来月、またやりましょう。「アイヴァン・マイズナーに訊くビジネスの秘訣」コーナーです。お聞きの皆さんに、もう少しお知らせしておきます。もし質問があったら—ビジネスや BNI について真剣な質問があったら、askivan@bni.com にメールを下さい。askivan@bni.com です。できるだけたくさんの質問にお答えしようと思っています。教育的な内容の質問にしてください。チャプターに関連する特定の問題は、その地域のディレクターに転送されます。そして、国名、都市名を明記するようにしてください。質問の中で紹介したいと思います。今日はここまでですね。

【BNI 三重リージョンニュース】

12月より、鈴鹿市で活動する BNI キャンドルチャプターが説明会の期間に入ります。皆様のお知り合いで、鈴鹿市、亀山市、津市北部、四日市南部の事業者さんがみえればご紹介を是非お願い致します。

【編集者より】

どんな国に住んでいようが、どんな文化であろうが、【基本が全て】なんですね。軍隊式のスケジュール管理が全員に向いているとは思えませんが、人によっては限られた時間を、より有効に使うことが出来るかもしれません。2017年はどんな一年でしたか？欲しいモノを手に入れる為には、人生のある時期に睡眠時間を削ってでも、仕事に打ち込む時期が必要かもしれません。2018年も素敵な一年になりますように。良い年末年始をお迎え下さい。